

シー・ビー E-2002A 使用説明書

シー・ビー E-2002Aは、航空機に塗装されているポリウレタンやエポキシ樹脂系塗料仕様の機体や部品に使用可能なアルカリ性の塗膜はく離剤です。

特徴

- ・メチレンクロライド等有機塩素系溶剤や重金属類を含有していません。
- ・一般的にはく離の難しいポリウレタンやエポキシ樹脂塗膜等に対して、優れたはく離性を有しています。
- ・適度な粘性と付着性がありますので、形状の複雑な航空機の垂直面や曲面、オーバーハング面のはく離作業にも適します。
- ・主成分は高沸点溶剤で更に蒸発防止剤を配合していますので、乾燥が遅く塗膜に対して長く作用します。
- ・界面活性剤が配合されていますので、はく離後の水洗性が良好です。
- ・航空機に使用されている金属に対して安全です。
尚、規格以外の材質や条件でご使用される場合は、事前にご相談ください。
- ・配合されている界面活性剤は、全て生物分解性が良好です。

組成及び性状

シー・ビー E-2002Aはベンジルアルコール含有のアルカリ性はく離剤です。

- 外 観 : 乳青色の粘性液体
- 比 重 : 約 1.0 (at 25°C)
- pH : 10.5~11.5 (at 25°C)
- 引火点 : なし

適合規格

- ・Boeing
 - Boeing D6-17487, Rev.L
- ・Douglas
 - CSD-1
- ・Military
 - T.O. 1-1-8
- ・United Airlines
 - CSM 5.01

使用方法

航空機の塗膜はく離作業に際しては、次の様な手順で行います。

1. 塗膜はく離作業の前準備

- (1)洗淨 :はく離する機体の表面にハイドロオイル、潤滑油等の油汚れが酷い場合は、航空機用アルカリ性洗淨剤(シー・ビー A-882 等)を使用して油汚れを除去洗淨して下さい。
- (2)マスキング :はく離剤を塗布してはならないアクリル窓, アンテナ, コンポジット, ランディングギヤー等に、アルミテープ, ポリエチレンシート等を使用して完全にマスキングをします。
- (3)はく離剤塗布用の器具:
 - ポンプ: エアー駆動方式のステンレス製エアーレスポンプ(グラコ社製, 圧力比5:1, 供給ホースが長い場合は10:1)を使用します。
 - スプレーガン :ポールの長さが90cm以内で、ステンレス製のものを使用します。
 - ノズル:スプレーパターンは、角度60~110° の扇型で、ミストにならない口径のチップ選択します。(スプレーイングシステムズ社製, ノズルNo.6508, 11008等)
 - ホース:口径1/2inch 以上で、ステンレスブレード型の耐高圧, 耐溶剤性のものを使用します。

2. はく離剤塗布作業

- (1)マスキング終了後、エアーレスポンプを使用して機体表面にはく離剤を塗布します。
- (2)はく離剤の塗布は、まず機体の下方から薄く塗布し、次いで少し厚く塗布します。
- (3)はく離剤の塗布後、塗膜がはく離するまで放置します。放置時間は、塗料の種類, 塗膜の状態, はく離剤のタイプ, 気温(標準 20~40°C/推奨 24~30°C)等の条件で変動します。
- (4)はく離剤の効果時間は、気温等の条件で異なりますが凡そ 4~8 時間で、塗膜がはく離しない場合は一旦塗布したはく離剤を掻き落してから、再度新しいはく離剤を塗布して下さい。
注意: はく離剤塗布表面が乾燥しないように注意して下さい。

小型の部品等の塗膜はく離作業に際しては、次の様な手順で行います。

- (1)部品へはく離剤を塗布します。出来る限り均一に塗布し、塗装はく離剤で表面を湿らせておきます。
- (2)塗膜が膨潤、又は軟化した後、ブラシで全て取り除きます。
- (3)表面をはく離剤や塗膜の残渣を十分に洗い流します。

3. はく離剤塗布作業者の保護具及び注意事項

- (1)塗布作業者は、アンモニア臭の防毒マスク, 保護ゴーグル, フルフェイスシールド, ゴム長靴, 保護衣等を必ず着用し、はく離剤が皮膚に付着したり吸入しない様にします。
- (2)もし目や皮膚に付着した場合には、多量の流水で十分に洗い流して下さい。必要に応じてはく離剤の付着した着衣を脱がせて下さい。洗淨後、痛みや外傷のある場合または目に付着した場合は必ず医師の診断を受けて下さい。
注意: はく離剤の使用にあたり、必ず製品の安全データシート(SDS)を参照して下さい。

4. はく離後の処置

- (1)塗膜が膨潤、又は軟化した後、ゴム製のスクレーパーやデッキブラシ等で塗膜を掻き落とします。
- (2)もし塗膜が残っているときには、再度はく離剤を塗布します。その時は、水洗せずにそのまま新しいはく離剤を塗布して下さい。
- (3)塗膜をはく離した後は、ブラシやスクレーパー等ではく離剤や塗膜の残渣を完全に除去します。
- (4)その後高圧水もしくは、アルカリ性の航空機機体洗淨剤(5~20 倍希釈液)をモップやブラシ使用して、はく離剤や塗膜の残渣を十分に洗い流します。

使用方法(続き)

5. はく離した塗膜及びはく離剤残渣等の廃棄

- (1) はく離した塗膜はクロム等重金属が含まれていますので、はく離剤残渣や使用したウェス等と共に回収し、許可を受けた廃棄物処理業者で委託処理します。
- (2) 過酸化水素含有のはく離剤(例えばシー・ビーE-2060)と混入しないで下さい。
容器内で反応して発熱したり、溢れ出したりします。
- (3) 水洗水等は排水処理施設にて処理し、各都道府県や市町村の排出基準を守って行なって下さい。

適用を受ける主な法規制

1. 水質汚濁防止法

- (1) pH (2) COD (3) BOD (4) 浮遊物質(除去された塗膜) (5) ノルマルヘキサン抽出物質
尚、廃液の廃棄処置については廃棄物専門業者に御相談されるのが宜しいと存じます。

2. 労働安全衛生法

名称等を通知・表示すべき危険物及び有害物:

アンモニア、トリエタノールアミン、ベンジルアルコール

注意事項

シー・ビー E-2002Aは、工業薬品です。

使用前に安全データシート(SDS)を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

荷姿

18 kg入り アトロン缶

以上